

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



目標達成にむかって挑戦する夏

千綿小学校103名、大きな事故もなく充実した1学期を過ごすことができました。保護者の皆様、千綿地区の皆様、本校をあたたく支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

夏休みを迎えるにあたり、終業式で次のような話をしました。

7月26日からフランスのパリでオリンピックが始まります。4年前（正確には3年前になります。コロナ流行のため1年先送りに。）の東京オリンピックで、私が一番心に残った選手は、女子ソフトボールの上野由岐子さんです。

実は、この上野選手、2008年の北京オリンピックで日本が金メダルをとったときのピッチャーでした。ものすごい剛速球を投げて、三振の山を築いていく、それはそれはすごい選手で、北京での日本の金メダルは上野選手がいたから手にすることができたといっても過言ではありません。

上野選手は長年、日本のエースとして活躍するのですが、やはり、少しずつ年をとってくると昔のようにはいかないようになってきました。そんな中、2020年東京でオリンピックが開催されることが決定しました。その時、上野選手は39歳。プロの世界では39歳という年齢は高く、世間から上野選手の活躍はむずかしいのでは・・・とささやく声も聞かれました。しかし、長年の実績と、北京オリンピックの金メダリストとしての経験から東京オリンピックにも連続して出場が決まったのです。

いよいよ、東京オリンピックが開幕。ソフトボール女子は、どんどんと勝ち進み、決勝では、宿敵アメリカを破って、見事金メダルを手に入れることができました。39歳の上野選手の気迫あふれるプレーに、誰もが感動しました。

日本が初めて金メダルをとった北京オリンピックから13年たって、39歳で迎えた東京オリンピックで、もう一度金メダルをとった上野選手は、振り返って次のような言葉をのこしています。

「13年という年月を経て、「最後まであきらめなければ夢はかなう」ということを、たくさんの方々に伝えられた」

つまり、上野選手は、「もうやめよう」とか、「頑張っても無駄だ」とかいう自分自身の弱い心、怠け心に勝って、あきらめることなく頑張り続けたということです。

上野選手が教えてくれたように、自らの「怠け心」に負けないように、健康安全に気を付けて勉強や運動をがんばり、自分の目標を達成してほしいと思います。そして、9月には、みんなが「今年の夏はこれをがんばった」と笑顔で話をしてくれることを期待しています。

いよいよ明日から、「自分の目標達成に向かって挑戦する夏」の始まりです。